

説明会においていただいた主なご質問及びご要望等

2020年2月17日

海老江ウォーターリンク株式会社

説明会では、お集りの皆さんから、たくさんの貴重なご質問及びご要望等をいただきました。

この度、いただきました主なご質問及びご要望、並びにご質問に対する回答を次の通りまとめましたので、お知らせいたします。なお、説明会後に確認を行った内容もあわせて記載しております。

皆様からのご質問及びご要望については、事業者として真摯に受け止め、今後、事業を進めていく上で活かして参りたいと考えております。引き続き、海老江下水処理場改築更新事業へのご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

主なご質問及びご要望等

【1. 概要、環境監視】

質問：道路部分の工事について、工事エリアが剥き出しのように見える。

回答：通行者の視認性が失われると考え、工事ヤード周囲全てをシートなどで覆うような措置はしていません。ネットフェンスを設置し、工事（掘削など）をする局所的な範囲については、シートで覆うようにしています。

質問：汚染土の深さはどの程度まであるか？粉塵にも汚染物質は含まれるか？

回答：粉塵が有害となる箇所（箇所）の深さは最大9mでした。粉塵が有害となる箇所については、大型テントで囲い粉塵が大気に放出されないよう対処しました。現在、掘削している範囲は、粉塵が有害になるという箇所ではありません。

質問：土壌が汚染されている場合、街路樹の実は汚染されているのか？また、小さな子供たちに対する将来的な被害が絶対にないと言えるか？

回答：街路樹の実については、それを口に入れて直ちに健康被害が出る程度に汚染されているとは考えられないと思います。イタイイタイ病のように汚染濃度が多いと健康被害はあると思います。健康被害というのは、確率論で考えられるものであり、絶対という形での説明は困難です。

質問：2期工事のヤードはどのような使い方をしているのか？

回答：現在は掘削工事がメインなので、2期ヤードは工事車両の通路として使用しています。今後、水処理施設躯体の構築に使用する資材等の置き場として使用します。

質問：現在、テントがない状態で作業をしている。強風などにより粉塵が飛散する可能性があるが、粉塵対策は実施しているか？

回答：車両走路はアスファルトで舗装しており、舗装面に散水し湿潤状態を保っています。また、水処理本体の掘削箇所は、防塵シートで覆う他、ミスト散布をすることで粉塵の飛散対策を図っています。

質問：ダンプに積み込んだ掘削土から水分などが落ちることはないか？

回答：ミスト散布については、粉塵が飛散しない程度の量しかしていません。ダンプについても、水分が落下しないよう荷台が箱状になっています。

【2. 今後の工事、その他の質疑】

質問：市道部の工事で最初の占用形態における歩道が狭かった。また、科学館の北側は夜間にかなり暗いので何か対処してほしい。

回答：今後の道路形態において、可能な限り歩行者がスムーズに通れるよう工夫します。また、科学館は2～3年後再開予定であるが、照度確保のための照明を設置するかなど検討します。

質問：道路部の掘削工事はどのように進めていくのか？

回答：現在の歩道と車道の幅員を確保しつつ、覆工をかけながら掘削工事を進めていきます。そのため、歩道がこれまでよりも極端に広くなったり狭くなったりすることはありません。

質問：粉塵などが非常に悪いもののように感じられる。工事関係者の方々の健康状態は大丈夫か？

回答：最低1年に1度は健康診断を受けています。当現場では健康被害を及ぼすような粉塵量ではないため、工事関係者の健康状態は良好です。

質問：地中障害物の撤去に対する工程が長いですが、どのようなものが出てきているのか？

回答：鉄筋コンクリートの塊や護岸のための鋼矢板などが出てきています。

質問：道路横断部の車線を規制しているエリアで自動車同士の事故が発生しないか気になっている。

回答：交差点の中は規制をすることができません。車線の規制方法については、警察との話し合いで決めているため、今後も当該部において危険を感じるような場合があれば、警察に相談しようと思います。

質問：地下水の流向は北から南と聞いている。今回の工事により、地下水の流向が変わるかわかるか？

回答：地下水の流向は把握していません。しかし、流向が変わると現在採水している井戸の成分が変わると思いますが、各井戸の成分に顕著な変化は生じていません。